

平成5年3月17日

銀行等専用駐車場の休日一般開放

全国的な注目の中、3月20日から実験開始

駐車場不足に悩む豊島区は、3月20日から池袋において、全国初の民間ビル内専用地下駐車場の休日一般開放実験を開始する。

実験対象は、三菱銀行池袋東口支店と東京都社会保険診療報酬支払基金とが共有する池袋ダイヤビル駐車場(53台・南池袋2-28)。実験開放ながら、都市銀行の駐車場を休日開放する試みとしても、全国で初めてであり、駐車場休日開放のモデルケースとなることが期待されている。

この実験は、大都市における共通の課題である駐車場問題解消への極めて有効な手段として、建設省と東京都も積極的な支援に乗り出している。

豊島区では、平成4年度から全国に先駆け、建設省が所管する『共同駐車場整備促進事業』の補助を受け、『駐車場有効利用促進計画』の策定に着手している。この計画策定にあたっては、高橋洋二東京商船大学教授を委員長とする『池袋駅周辺地区駐車場案内・有効利用計画策定調査委員会』を、東京都と共同で昨年10月に設置し、検討を進めていた。

同委員会での具体的な検討課題は、今回試験的に実施することになった公共機関と民間が所有する専用駐車場の『休日開放システム』と、デパート・小売店・飲食店等が全ての駐車場を共通特約化する『共通駐車券システム』、及び駐車場の満空状態等の情報を道路上でドライバーに提供する『駐車場案内システム』という既存駐車場の有効利用策を探るもので、休日開放はその3点セットの一つ。

これまで、青空駐車場を休日開放したものは、いくつかの自治体で実施しているが、今回の実験は、『都市型休日開放システム』についての基礎的データの収集や、本格実施へ向けての問題点の把握などを主な目的としている。

実験は、区役所来庁者用駐車場(11台・東池袋1-18)でも併せて実施され、実験期間は、3月20日から5月5日までの土曜・日曜及び祝日。ただし、池袋ダイヤビルについては、所有者が使用する4月10日、11日、29日は除かれる。開放時間は、正午から午後6時まで。利用は2時間を限度とし、アンケートへの協力を条件に料金は徴収しない。また、実験駐車場の安全管理については、警備員を配置して万全を期す。

豊島区では、今回の実験で得たデータや問題点を踏まえ、具体的な休日開放対象駐車場の抽出、開放化に伴う費用、運営セクター、共通駐車券システムの詳細などについてを委員会へ諮り、平成7年の本格実施を目指している。

詳細 交通対策課長